

授業科目	生涯発達心理学 I (乳幼児期)				
担当者	宇野田陽子				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 授業目的・内容

乳幼児期から学童期までの各時期の発達の特徴について学び、臨床場面で子どもと出会ったときに子どものよき理解者となれるような知識を身につける。発達心理学に関する諸理論、各発達段階で経験されやすい心理的 / 社会的課題、子どもの育ちに関する時事問題などについても触れる。

■ 到達目標

乳幼児期から学童期までの発達の流れを大まかにつかむこと。各発達段階で重要な項目を理解すること。

■ 授業計画

- 第1回 発達とは 生涯発達心理学の考え方と歴史
- 第2回 発達の規定要因 研究法 発達課題
- 第3回 胎生期の特徴 (生理、母親の心理と胎児の発達)、新生児期の特徴 (知覚、認知、社会的能力)
- 第4回 乳児期の特徴① (知覚、認知、運動)
- 第5回 乳児期の特徴② (対人関係、情緒、前言語的コミュニケーション、愛着について)
- 第6回 幼児期の特徴① (遊び、認知発達)
- 第7回 幼児期の特徴② (社会性、「育てにくさ」、愛着について)
- 第8回 幼児期の特徴③ (言語、コミュニケーションについて)
- 第9回 学童期の特徴① (知的機能、社会性)
- 第10回 学童期の特徴② (情緒の発達、発達障害、教育との関係性)
- 第11回 青年期、成人期、中年期、老年期について
- 第12回 発達理論と近年の心理的・社会的課題
- 第13回 子どもの育ちをめぐる動き (子どもの権利、インクルージョンなどの視点から)
- 第14回 児童虐待について
- 第15回 まとめ

■ 評価方法

筆記試験70% レポート30%

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

特に重要な点はその都度お伝えするので各自で復習してください。適宜、重要な文献、講演会や映画などの情報をお伝えするので、積極的に触れてみてください。小児の臨床を行うにあたって知っておくべき絵本やおもちゃなどについてもできるかぎり情報提供するので、実際に手に取るなどして子どもの文化に積極的に関心を持ってください。

■ 教科書

書 名：生涯発達心理学 認知・対人関係・自己から読み解く
 著者名：鈴木忠・飯牟礼悦子・滝口のぞみ
 出版社：有斐閣アルマ

■ 参考図書

書 名：発達の扉 上
 著者名：白石正久
 出版社：かもがわ出版

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合があります。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。